

第34回 社会言語科学学会大会

Program of the 34th Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences



日時 2014. 9.13(土) ~ 14(日)
受付開始: 13日(土) 9:30~ / 14日(日) 10:00~

場所 立命館アジア太平洋大学
 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1

交通 ①JR亀川駅より:大分交通バス「立命館アジア太平洋大学」(終点)下車(15分)
 ②JR別府駅より:東口から大分交通バス「立命館アジア太平洋大学」(終点)下車(35分)、西口から亀の井バス「立命館アジア太平洋大学」(終点)下車(35分)〔※その他のアクセスにつきましては、ホームページをご覧ください〕

参加費 (大会論文集1冊込) 会員:4,000円/非会員:5,000円/学生会員:3,000円/学生非会員:4,000円〔事前申込み(割引)の期限等につきましてはホームページをご覧ください〕

お問い合わせ先 社会言語科学学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp http://www.jass.ne.jp/another/?page_id=2

9月13日(土)

9:30	受付開始 (F棟1F 入口付近)			
10:00	開会			
	<セッション1> (F棟2F 209教室) 司会:榎本 剛士(金沢大学)	<セッション2> (F棟2F 210教室) 司会:大場 美和子(昭和女子大学)	<セッション3> (F棟1F 109教室) 司会:生天目 知美(東京海洋大学)	<セッション4> (F棟1F 110教室) 司会:中東 靖恵(岡山大学)
10:00 - 10:30	非デスマス体の指標的意味 岡崎 渉(広島大学)	内在化された日本軍の規律とキリスト教—台湾原住民族の日本語の語りから— 荻原 まき(立教大学)	視覚情報の有無から見る沈黙解釈の差異—同一作成者のトランスクリプトの比較を通して— 種市 瑛(立教大学)	勧誘会話における日中の配慮の仕方—被勧誘者が勧誘内容に興味がない場合— 劉 丹丹(大阪大学)
10:35 - 11:05	外資系企業における日本人従業員のコードスイッチング—モノレクタルな視点から— 齋藤 純子(テンブル大学ジャパンキャンパス)	話の展開のやり方をターゲットとした「からかい」の分析 初鹿野 阿れ(名古屋大学), 岩田 夏穂(大月短期大学)	発話解釈に伴う推測と視線認知 梅木 俊輔(東北大学)	日本語とスワヒリ語における「勧誘」の対照研究—「勧誘の受諾」の会話から— 中垣 友江(大阪大学)
11:10 - 11:40	熊本市内方言におけるアスペクト表現のコードスイッチングとその要因 吉里 さち子(立命館アジア太平洋大学)	子どもの介入によるインタビュー中断とその回復にみるコミュニケーション資源の活用について 秦 かおり(大阪大学)	視線の振る舞いと対照的な行為タイプの関係性—同意・非同意ターンに着目して— 杉浦 秀行(茨城大学)	日韓の同性間の談話における聞き手の発話様態—ポライトネスの観点からみる日韓差と男女差— 張 允娥(大阪大学)
13:00 - 13:05	開催校ご挨拶 (H棟2F 202教室)			
13:10 - 14:40	招待講演 (H棟2F 202教室)	講演題目:日本語系クレオール語の形成プロセス 講演者:真田 信治(奈良大学教授・大阪大学名誉教授)		
14:45 - 15:30	総会・大会発表賞授賞式 (H棟2F 202教室)	語りに立ち現れる「今ここ/過去」の重なり:台湾原住民族の語りから 荻原 まき(立教大学)	フィリピン・アルタ語の社会言語学的状況と言語危機 木本 幸憲(京都大学)	
15:45 - 18:15	<ワークショップ1> (F棟2F 210教室) ロールプレイ会話による方言談話対照研究の試み—地域差・世代差・性差・メディア差に注目して— 企画責任者:井上 文子(国立国語研究所) 話題提供:松田 美香(別府大学), 酒井 雅史(大阪大学), 白坂 千里(大阪大学)	<ワークショップ2> (F棟1F 109教室) 災害時の医療・福祉現場における方言の問題と支援—東日本大震災から学ぶ被災のための方言支援ツール— 企画責任者:今村 かほる(弘前学院大学) 話題提供:岩城 裕之(高知大学), 武田 拓(仙台高等専門学校), 日高 貢一郎(大分大学), 友定 賢治(県立広島大学)	<ワークショップ3> (F棟1F 110教室) インタラクションから見る日英語の構文選択—認知言語学と社会言語学の交流を目指して— 企画責任者:野中 大輔(東京大学) 話題提供:貝森 有祐(東京大学), 高橋 杏紗(東京大学), 山田 彬堯(東京大学), 井上 逸兵(慶応義塾大学)	
18:30 -	懇親会 (E棟 パシフィックカフェ)			

9月14日(日)

10:00	受付開始 (F棟1F 入口付近)			
10:30 - 11:45	ポスター発表 司会:榎本 剛士(金沢大学)(F棟1F アトリウム) P-01 携帯メールにおける日・韓コードスイッチング現象について 李 宥定(九州大学)	P-02 関西在住大学生のボケとツッコミに対する意識調査 VAAGE GORAN(神戸女学院大学)	他 計12件	
	<セッション5> (F棟2F 209教室) 司会:柳田 直美(一橋大学)	<セッション6> (F棟2F 210教室) 司会:日高 水穂(関西大学)	<セッション7> (F棟1F 109教室) 司会:本田 弘之(北陸先端科学技術大学院大学)	<セッション8> (F棟1F 110教室) 司会:安井 永子(名古屋大学)
13:00 - 13:30	対話におけることわざの使用とその動機づけ 平川 裕己(神戸市外国語大学)	就職活動と英語に対する大学生の意識—あるケース・スタディから— 森住 史(成蹊大学)	類義語としてのカタカナ語・漢語の意味的相違—「シーズン」と「季節」の意味相違についての考察— 陳 曉静(立命館大学)	カーレースの実況中継における予想と検証の発話連鎖 劉 礫岩(滋賀県立大学), 細馬 宏通(滋賀県立大学)
13:35 - 14:05	「味」のレトリック—日韓のTVコマーシャルで使用されている「おいしさ」の表現— 武藤 彩加(琉球大学)	方言接触による方言習得と方言レベリング—メキシコシティ日系コミュニティにおける日本語否定の形態素の変異— 奥村 晶子(東京大学)	ジャワ語の敬語の習得をより易しいものへ—敬語語彙目録の再検討— スリブディレスタリ(無所属)	敗者へのインタビュー—スポーツ競技後インタビューの切り出し方— 細田 由利(神奈川大学), アリン デビッド(神奈川大学)
14:10 - 14:40	関西方言話者が共通語形を選択するとき—認知的な観点から— ヘファンン ケビン(関西学院大学), 平塚 雄亮(西南学院大学)	実時間調査による共通語化モデルの検証—国立国語研究所の鶴岡調査から— 阿部 貴人(国立国語研究所)	日本語の翻訳字幕における省略と縮約の実現—韓国語との対照を通して— 尹 盛熙(関西学院大学)	Co-constructing Argument in Peer Discussion—Single Episode Analysis of Conflict Talk— アリン デビッド(神奈川大学), 細田 由利(神奈川大学)
14:45 - 15:15	被災地の方言を撮る—方言研究者による映像アーカイブ— 櫛引 祐希子(追手門学院大学)	台湾花蓮県萬榮村におけるランゲージシフト 簡 月真(国立東華大学)	意味機能に基づく日本語フィラーの使用実態—中国人日本語学習者と日本語母語話者との対照に着目して— 葛 欣燕(九州大学)	理容行為の実践を巡る様々な発話の組織化 名塩 征史(北海道大学)